

豊かなウォーターフロント フォトコンテスト2009

海とみなと——その歴史・役割・観光

本コンテストは、写真を通じて海辺や港の四季折々、津々浦々の姿を表現していただき、ともすれば港と疎遠になりがちな方々に対してその素晴らしさを再認識していただくと共に、ウォーターフロントの景観への意識を高めることを目的としています。

ウォーターフロントフォトコンテストも今年で18回目となり、「海とみなと——その歴史・役割・観光」というテーマに対して、616点もの応募がありました。いただいた作品に対して、平成21年10月22日に厳正なる審査を行った結果、次の通り素晴らしい入選作品を決定させていただきました。



国土交通大臣賞

中西康治 沖縄県石垣島内

ボクらの休日



なんと平和な風景でしょう。戦争体験者にとってこの沖縄の自然美は胸を熱くします。

撮影に際して人物が後ろ姿で、小犬が海を眺めるセッティングには感心させられました。



総評

継続は力なりと言いますが、当コンテストも回を重ねて、今や戦後史としての価値まで付加されてきたように見受けられます。ここに至るまでの関係者各位の熱意と努力、応募者の好意に一関係者として深く敬意を表します。

顧みますに、ここ数年カメラの進化もさることながら、プリント機材、技術とも進歩して、目を見張る鮮明な作品に出合う機会が多くなってきました。もはや写らないものは無いという現状では、今まで以上に撮影以前の知識認識が大切になってきたように思います。

ご存じのとおり、わが国の物資の99.7パーセント以上を、船舶の輸送に頼っている事実にして、海運、港湾を直視し、そこで働く人達の活動にも注目しながら、感動を写真にしていきたいとも思います。

また、こうした変動激しい時代なればこそゆったりとした船旅を体験しながら、海から見る日本の港湾、海浜の光景を写真表現していただくのもよろしいかと思えます。

原田恵一 神奈川県横浜港
 国土交通省港湾局長賞

晴れた日に



まるで芝生の丘を思わせる壮大な横浜港大さん橋の上に、横たわる豪華客船。デッキに並ぶ満員の客が、一層景観を大きく感じさせます。撮影場所の選定、チャンスの把握も見事です。

中田康之 岡山県笠岡港
 日本港湾協会会長賞

仲間たち



海の安全を祈願する催しは各地に残りますが、この作品のように、風にはためく幟や旗の強烈な印象を作品化したのは珍しい例です。その船上で休息する若者との対照で見せる方法も巧妙です。



港湾海岸防災協議会長賞

須田寛 山形県酒田港
堤防の太公望



まさに現代の風景です。雪を冠する連峰を遠景に、向こう岸には巨大な風車。そして堤防に座って糸を垂れる釣人の鮮やかな色の持ち物、すべてが北国の大自然に溶け込んで現代の静寂を感じさせます。



北海道開発局長賞

青山弘志 北海道函館港

朝焼けの箱館丸



おそらく帆船箱館丸に魅せられて、写し続けられた中の一枚でしょう。この作品は気象条件と時間帯、撮影位置の選定が良く、美しい函館の名作写真になりました。

豊かなウォーターフロントフォトコンテスト2009

東北地方整備局長賞

渡邊潤 青森県青森港

フェリー



フェリーに乗り込むトラックのテールランプと対応する係員の姿に、北国の夜の冷え込みが感じられます。できればもう一枚、2~3メートル進んだところをキャッチすると、船の大きさ、頼もしさが表現できたでしょう。

関東地方整備局長賞

長谷川裕壽 神奈川県横浜港

みなとの夜明け



なんて美しい穏やかな港の朝景色でしょう。港湾は人間が作り出した景観美です。それを引き立てるのはやはり気象条件であることを、いつも痛感しますが、この写真も注意深い努力が生んだ秀作です。



北陸地方整備局局長賞

木下正治 福井県越前海岸

荒天の兆し



まず撮影者の勇気ある努力を評価します。このシーンを引き立てたのは、嵐が近い空模様ですが、できればカメラを、2~30センチ下げると、灯台の形に安定感が出たかと思います。



中部地方整備局局長賞

大石金作 静岡県御前崎港

コンテナ船と名峰



白雪をいただく快晴時の富士山。世界中の人を魅了する景観に、色鮮やかな巨船を配して撮影される作者の、満感が伝わってきます。右に赤い灯台を配したフレーミングも見事です。



近畿地方整備局長賞

山崎秀司 京都府間人漁港

荒れる灯台



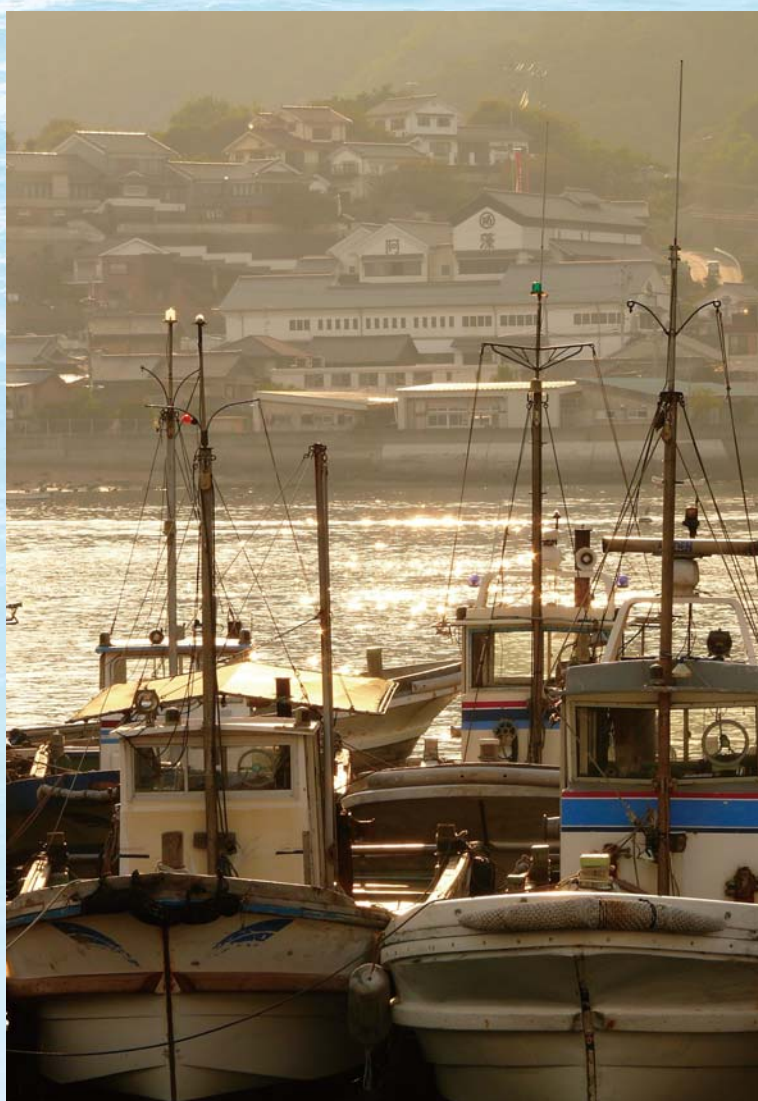
大自然の暴威に毅然と立ち向かう灯台、カメラを構える撮影時の緊張と息づかいが伝わってくる労大作です。そのまた波に映える投光の妖しい美しさ。まさに努力の甲斐ある名作が生まれました。



中国地方整備局長賞

中村慎吾 広島県鞆ノ浦

光る海、鞆ノ浦にて



逆光にきらめく瀬戸の風景。望遠レンズで捉えた対岸の家並み施設等は現代風ですが、レンズフードをうまく使って、もう少し広く写すと、鞆ノ浦という地域表現ができたかと思います。

山口信二 徳島県鳴門海峡
四国地方整備局長賞

うず潮最前線!



鳴門の渦潮に挑む観光船の航跡と、船の位置とを要領よく一枚にまとめた秀作。エメラルドグリーンの海の色も快く引き立てています。

里村強志 鹿児島県鹿児島港
九州地方整備局長賞

出航準備



鹿児島港に立ち寄った日本丸の貴重な記録。林立する複雑なマスト、純白の船体、その美しさには惚れ惚れします。この作品は、レンズの選択、フレーミングの巧みさで、背景の山、人物の存在も生きています。



沖繩総合事務局長賞

山中健次 沖縄県瀬底海岸

バケーション



沖縄の珊瑚礁の海は、空から見るたび感動します。この写真も内地の海で味わえない美しさを表現しています。できれば、人物の表情、動きにもう一工夫欲しかった気がします。



優秀賞

毎年辛い思いをしますが、各局長賞と優秀賞の優劣差は簡単に見つけれられません。なぜなら当コンテストは、まず地区別に審査があるため、地域による応募数の多少で競争率が違ってきます。したがって、応募数の少ない地区を目指せば、有利とは言えます。

こうして地区別に予選を通過した作品の中から、大臣賞以下の入賞作品が選ばれます。しかしこの場合も、やはりユニークな新作が望まれます。どうぞ、こうした事情を賢察の上、今年も優秀賞に愛を込めてご覧ください。

林範明 北海道網走港

につぼん丸



鮭の遡上

勝山重雄 北海道標津



流刻

玉野百合子 石川県寺家上野



宮永香 富山県富岩運河

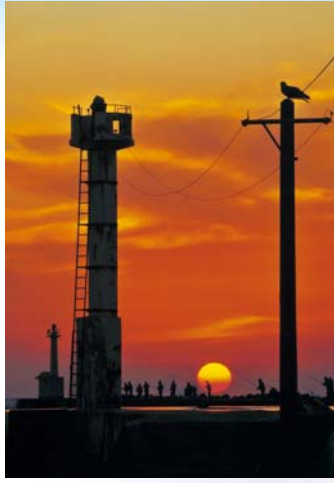
重要文化財富岩運河閘門





優秀賞

夕陽のエピローグ
五十嵐正範 福井県三国港



冬装美
千原輝實 石川県旧海磯港



威風堂々
渡辺アツシ 福島県請戸漁港



引く！タグボート
佐藤芳恵 新潟県新潟港



クリーン砂浜
武田敏久 岩手県十府ヶ浦海岸



木材港
カマタニヒサト 岩手県宮古港



風の日
則田政朗 愛知県伊良湖ロコ岬



海辺の彩り
大嶋武夫 愛知県三河港



活動する科学掘削船
望月信明 静岡県駿河湾



色彩の浜
高津照仁 三重県古和浦湾



大木知子
静岡県舞阪漁港
漁場に急ぐ



中原秀夫
岡山県浜川海岸
寒稽古



石川賢一
高知県久礼港
陽がまた登る



井上京子
兵庫県神戸港
防災訓練



ドラゴミール美紀
兵庫県神戸港
帆船がやって来た



太田宣行
愛知県亀崎港
山車の海浜曳き下ろし



小椋利昭
広島県呉港
歴史を語る



はまゆう孝行
愛媛県今治港
帆船見学



入港
横山昭人
香川県高松港



藤原佳代子
兵庫県神戸港
巨大タンカー進水





優秀賞

港町の静寂夜
中浜良治 兵庫県神戸港



堀内勇 京都府伊根湾
舟屋の灯り



加藤誠司 兵庫県姫路港
海王丸来港



鈴木賢治 兵庫県明石海岸
こんにちはわ!



山田宏作 鹿児島県喜入港
荷揚げ



橋内勝美 熊本県牛深港
風力発電
ぱしふいっくびいなすと



田中和夫 東京都東京港
2009年夏



三原賢士 大分県佐賀関半島
関埼灯台



緒環一暁 大分県臼杵港
渦潮残して



山下孝治 長崎県長崎港
巨大クレーン



岡本芳隆
神奈川県荒崎
残照の波間



並木喜久雄
神奈川県横須賀港
ドライドック



能登正俊
沖縄県真栄里ビーチ
シーズンを待つビーチ



吉原敏男
千葉県銚子漁港
出漁準備完了



大嶽正幸
神奈川県逗子海岸
真冬の風に乗る



小澤宏
神奈川県早川漁港
群れ



国土交通大臣賞
中西康治 (沖縄県石垣港)
国土交通省港湾局長賞
原田恵一 (神奈川県横浜港)
日本港湾協会賞
中田康之 (岡山県笠岡港)
港湾海岸防災協議会長賞
須田寛 (山形県酒田港)

北海道開発局長賞
青山弘志 (北海道函館港)
東北地方整備局長賞
渡邊潤 (青森県青森港)
関東地方整備局長賞
長谷川裕壽 (神奈川県横浜港)
北陸地方整備局長賞
木下正治 (福井県越前海岸)
中部地方整備局長賞
大石金作 (静岡県御前崎港)
近畿地方整備局長賞
山崎秀司 (京都府間人漁港)
中国地方整備局長賞
中村慎吾 (広島県鞆ノ浦)
四国地方整備局長賞
山口信二 (徳島県鳴門海峡)
九州地方整備局長賞
里村強志 (鹿児島県鹿児島港)
沖縄総合事務局賞
山中健次 (沖縄県瀬底海岸)

優秀賞
林範明 (北海道網走港)
勝山重雄 (北海道標津)
宮永香 (富山県富岩運河)
玉野百合子 (石川県寺家上野)
五十嵐正範 (福井県三国港)
千原輝實 (石川県旧海磯港)
佐藤芳恵 (新潟県新潟港)
渡辺アツシ (福島県請戸漁港)
カマタニヒサト (岩手県宮古港)
武田敏久 (岩手県十府ヶ浦海岸)
大嶋武夫 (愛知県三河港)
則田政朗 (愛知県伊良湖口岬)
高津照仁 (三重県古和浦湾)
望月信明 (静岡県駿河湾)
太田宣行 (愛知県亀崎港)
大木知子 (静岡県舞阪漁港)
小椋利昭 (広島県呉港)
中原秀夫 (岡山県笠川海岸)
はまゆう孝行 (愛媛県今治港)
石川賢一 (高知県久礼港)

横山昭人 (香川県高松港)
井上京子 (兵庫県神戸港)
藤原佳代子 (兵庫県神戸港)
ドラゴミール美紀 (兵庫県神戸港)
堀内勇 (京都府伊根湾)
鈴木賢治 (兵庫県明石海岸)
加藤誠司 (兵庫県姫路港)
中浜良治 (兵庫県神戸港)
橋内勝美 (熊本県牛深港)
緒環一暁 (大分県臼杵港)
山田宏作 (鹿児島県喜入港)
三原賢士 (大分県佐賀関半島)
山下孝治 (長崎県長崎港)
田中和夫 (東京都東京港)
吉原敏男 (千葉県銚子漁港)
岡本芳隆 (神奈川県荒崎)
大嶽正幸 (神奈川県逗子海岸)
並木喜久雄 (神奈川県横須賀港)
小澤宏 (神奈川県早川漁港)
能登正俊 (沖縄県真栄里ビーチ)

主催
(社)日本港湾協会
港湾海岸防災協議会
後援
国土交通省

協賛
(社)日本外航客船協会
(社)日本旅客船協会
(社)日本マリーナ・ビーチ協会
(社)ウォーターフロント開発協会
(財)港湾空間高度化環境研究センター
(財)港湾空港建設技術サービスセンター
富士フィルム

審査員 (順不同・敬称略)
齋藤 潮 (東京工業大学教授)
廻 洋子 (淑徳大学教授)
富岡哇草 (写真家)
松野正雄 (写真家)
茶谷 茂 (写真家)

梶原康之 (国土交通省港湾局海岸・防災課長)
塩崎正孝 (国土交通省港湾局国際・環境課長)
鬼頭平三 (社)日本港湾協会理事長